

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	(簡水)維持管理事業			
予算科目	1 款 1 項 2 目			
総合計画での位置付け	住環境の整備と生活安全の確保～はつらつ住みよいまちづくり～ 生活環境の整備			
所管課情報	担当課:	水道課	電話番号(内線):	713
記入者情報	所属長:	野島 康博	担当責任者:	森脇 隆
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 17 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	市民(簡易水道の利用者)			
根拠法令等	水道法			
事業の目的	双海、中山地区の9箇所(上灘、豊田、小網、本郷、城の下、中山、佐礼谷、村中及び永木)の簡易水道区域内に安定的に水の供給を行えるように施設管理をする。			
事業の内容	双海、中山地区の9箇所(上灘、豊田、小網、本郷、城の下、中山、佐礼谷、村中及び永木)の簡易水道区域内に安定的に水の供給を行うために各浄水場及び配水管等の水道施設を維持管理する。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	日々のロガー監視、警報等及び週一回の巡回点検により、各施設の現状把握を行い、統合整備事業との整合性も合わせ、無駄をなくし、更なるコスト縮減に努める。			
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	30,357	36,494	11,130	31,743
	人件費	4,555	2,624	874	2,624
	合計	0	39,118	12,004	34,367
人件費 内訳	人工数	0.56	0.33	0.11	0.33
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	4,555	2,624	874	2,624
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	34,912	39,118	12,004	34,367

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
光熱水費	千円	7444	8334	3893	7647
修繕費・工事請負費	千円	8202	10225	3831	8250
委託料	千円	4989	6200	1060	5584

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
	40,000	40,000	20,000	20,000	20,000	140,000

成果指標				
成果指標	水道使用料÷総務管理費用(直接事業費)			
指標設定の考え方	水道施設を維持管理していく上で、費用対効果及び受益者負担の原則により、独立採算制が取れる事業に少しでも近付ける必要がある。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	1.2	1.2	0	0
実績	0.96	0.89	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	散在する小規模施設の経年劣化は避けて通れない状況にあり、今後、施設の更新と統合整備計画との整合性を図りながら、計画的・効率的な維持管理を行っていかねばならない。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	簡易水道の維持管理事業においては、各簡易水道施設を健全かつ円滑に運転管理し、安全で安定した水道水を市民に供給する重要な事業である。今後においても、施設の現状把握を行い、計画的な施設整備(修繕・改修・改良)を行うと共に、適正な維持管理と効率的な事業運営を行う必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題